

平成 29 年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月23日実施)	総合評価(3月31日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る学習指導をおこなう。 ・「聞き取る力」「読み取る力」「書く力」「要約する力」「説明する力」を高める学習指導をおこなう。 ・生徒の主体的・協働的な学習を重視し、学習内容の深まりと拡がりを追及する学習指導をおこなう。 <p>②教育課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路を見据えた「学びのコンセプト」に基づく教育課程を実践する。 ・これまでの福祉教養コースで取り組んできた成果を学校全体の特色とする教育課程を編成する。 	<p>①授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的、対話的な学習をととして学習の深まりと拡がりを追及する。 ・「書く力」「要約する力」「説明する力」を高める学習指導を重点的におこなう。 ・読書の時間の充実に努める。 <p>②教育課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度入学用教育課程を実施する。 ・1学年数学においてティームティーチングを行う。 ・特学クラスにおいてICT活用型の学習教材を活用する。 ・「福祉教育の全体計画」を踏まえて実践する。 	<p>①不断の授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習目標の明示と振り返りを徹底する。 ・家庭学習課題と確認テスト等を実施し学習習慣の定着を図る。 ・要約や小論文など、書く機会や資料を読み取り、要約したり他者へ説明したりする機会を増やす。 ・グループワークによる協議や教え合いの機会を増やす。 ・読書の時間の充実に向けたクラス単位で貸し出せる本の整備をする。 <p>②教育課程の改編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏期講座の内容を充実させるとともに、生徒の参加を促す。 ・英語検定、漢字検定、手話検定等への積極的受検を促す。 ・特学クラスの運営について、実践→検証→修正を繰り返して、充実した展開をめざす。 ・「福祉教育の全体計画」にも続く各セッションでの実施を促し、実施状況を把握する。 	<p>①・生徒による授業評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科会における教員相互の評価 ・本校主催の地域教育懇談会での授業参観における地域の方々の評価 ・生徒の発表や小論文等の成果物の達成状況 <p>②・夏期講座の内容の充実度と参加者数が昨年度比10%増えたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定試験の受験者数の昨年比 ・定期テストや模擬試験による1学年数学の学習定着率の昨年比 ・特学クラスの学習評価の平均値が他のクラスと比較して10%高いか。 ・模擬試験結果が昨年より伸びたか。 ・「福祉教育の全体計画」に基づく福祉活動実践件数の昨年比 					

2	生徒指導・支援	<p>①規範意識を醸成するとともに、責任感や連帯感の涵養を図る。</p> <p>②自己管理能力を高め、他者を理解する心を育む。</p> <p>③教育相談体制の一層の強化を図る。</p>	<p>①部活動や生徒会行事の活性化を通して、責任感の向上や生徒同士の連帯を図るとともにルールを守る大切さを学ばせる。</p> <p>②生徒の人間関係の状況把握をし、未然防止につとめる体制を強化する。</p> <p>③早期発見につとめ、重篤な問題に至らない職員体制を継続する。</p>	<p>①生徒が主体的に規範意識や責任感・連帯感を高めるように部活動や行事の活性化を支援する。</p> <p>②日々の生徒状況の把握と「いじめ防止アンケート」の実施と活用。</p> <p>③H27年度策定した「校内教育相談体制」に基づき適切かつ迅速に対応する。</p>	<p>①部活動や行事に係る生徒アンケートの実施で生徒の充実感を確認する。</p> <p>②SNS関連の指導件数と昨年度比</p> <p>③課題の解決に至った件数と昨年度比</p>					
3	進路指導・支援	<p>①生徒一人ひとりの進路実現を果たす。</p> <p>②大学・短大進学における一般受験希望者数の増加を図る。</p>	<p>①上級学校見学や働くことに関する学習の機会を増やし、生徒のキャリアプランニングを支援する。</p> <p>②模擬試験や学力テストの機会を増やし、生徒の進学力を高める。</p>	<p>①学習・進路ナビに学習ワークシートを追加し、見学や体験の記録をチェックし、生徒の進路意識を高める。</p> <p>②業者の模擬試験を校内で実施し、一般受験を促進する環境を整える。</p>	<p>①上級学校見学や職業体験の参加者数が昨年度比10%増えたか。</p> <p>②模擬試験受験者が50名、一般入試受験者が延べ100名、センター入試受験者が30名を超えたか。</p>					
4	地域等との協働	<p>①人とつながり福祉の心を涵養するとともに、社会とかかわる力を育成する。</p> <p>②地域の教育力を活用する。</p>	<p>①「福祉教育の全体計画」に基づき、生徒が地域から必要とされると実感できる環境やつながりを創出する。</p>	<p>①地域のボランティア募集や地域行事の情報を職員間で共有し、生徒が参加する機会を増やす。</p>	<p>①福祉活動への参加者数と昨年度比</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>①いのちを尊重する教育を推進する。</p> <p>②防災教育、防災体制を強化する。</p> <p>③交通安全教育を推進する。</p>	<p>①健やかな身体と自己肯定感を育み、生きることの尊さを学ぶ機会を増やす。</p> <p>②地域と連携した防災訓練を実施する。</p> <p>③自転車事故の未然防止に取り組む。</p>	<p>①毎週定期的に教育相談担当者会議をおこない、生徒の情報共有につとめるとともに適切な講演会等を実施する。</p> <p>②新たな津波対策と地域避難場所としての役割を認識し、積極的に地域との合同の防災訓練を行う。</p> <p>③スクエアドストレイトを実施する。</p>	<p>①生徒の情報共有が十分にでき、適切な支援ができたか。</p> <p>②避難地域住民への対応を想定した訓練が実施できたか。</p> <p>③登下校の自転車事故件数の昨年度比</p>					